

## 第4回 国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J) 資料一覧

- 資料1 委員名簿 (案)
- 資料2 平成25年度事業実施結果
- 資料3 平成26年度事業実施計画 (案)
- 資料4-1 関係団体・関係省庁の取り組み
- 資料4-2 委員会、関係団体、関係省庁の主な取り組み
- 資料5-1 今後の委員会の進め方について (案)
- 資料5-2 中間評価に向けたスケジュール (案)
- 資料5-3 中間評価に向けたアンケート 集計概略
  
- 参考資料1 設置要綱
- 参考資料2 平成25年度スケジュール
- 参考資料3 平成26年度スケジュール (案)
- 参考資料4 ロゴマーク使用規程
- 参考資料5 連携事業の認定に係る基準等の改正について

国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)  
委員名簿(案)

・委員

＜委員長＞

榊 原定 征 一般社団法人 日本経済団体連合会 会長

＜委員長代理＞

涌 井 史 郎 東京都市大学 教授

＜学識経験者・有識者・文化人＞

(アイウエオ順)

岩 槻 邦 男 東京大学 名誉教授  
イ ル カ 国際自然保護連合(IUCN) 親善大使  
小 菅 正 夫 北海道大学 客員教授  
堂 本 暁 子 前千葉県知事、元 IUCN 副会長  
山 岸 哲 兵庫県立コウノトリの郷公園 園長

＜関係団体＞

一般社団法人 日本経済団体連合会 (経済界)  
公益社団法人 経済同友会 (経済界)  
日本商工会議所 (経済界)  
公益社団法人 日本青年会議所 (経済界)  
一般社団法人 大日本水産会 (経済界)  
全国漁業協同組合連合会 (経済界)  
社団法人 日本林業協会 (経済界)  
全国森林組合連合会 (経済界)  
全国農業協同組合中央会 (JA全中) (経済界)  
全国農業協同組合連合会 (JA全農) (経済界)  
一般社団法人 日本旅行業協会 (経済界)  
国際自然保護連合日本委員会 (IUCN-J) (保全・普及啓発団体)  
公益社団法人 日本植物園協会 (保全・普及啓発団体)  
公益社団法人 日本動物園水族館協会 (保全・普及啓発団体)  
公益財団法人 日本博物館協会 (保全・普及啓発団体)  
国連生物多様性の10年市民ネットワーク (保全・普及啓発団体)  
一般社団法人 CEPAジャパン (保全・普及啓発団体)  
生物多様性わかものネットワーク (保全・普及啓発団体)  
一般財団法人 自然公園財団 (保全・普及啓発団体)  
SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク (保全・普及啓発団体)  
公益財団法人 日本自然保護協会 (NACS-J) (保全・普及啓発団体)  
地球環境パートナーシッププラザ (GEOC) (保全・普及啓発団体)  
公益社団法人 国土緑化推進機構 (保全・普及啓発団体)  
公益財団法人 山階鳥類研究所 (保全・普及啓発団体)  
生物多様性自治体ネットワーク (地方自治体)

＜関係省庁＞

外務省  
文部科学省  
農林水産省  
経済産業省  
国土交通省  
環境省

・後援団体

一般社団法人 日本新聞協会  
一般社団法人 日本民間放送連盟

国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)  
平成 25 年度事業実施結果

- ★ 新規事業  
☆ Iki・Tomo 推進事業  
【 】 Iki・Tomo 推進事務局

1. 意見・情報の交換

(1) 生物多様性全国ミーティング

- ・11/10 に兵庫県豊岡市で「第3回生物多様性全国ミーティング」を開催
- ・「生物多様性キャラクター応援団共同宣言式」、講演、認定連携事業等の発表、参加者同士が意見交換を行うワークショップ等を実施
- ・11/9 の「生物多様性自治体ネットワーク定期総会」、「生物多様性ミニフォーラム」、「生物多様性エクスカージョン」と連携して開催

(2) 生物多様性地域セミナー

- ・生物多様性自治体ネットワーク構成団体に連携・協力を呼びかけ、「生物多様性地域セミナー」を3か所で開催  
7/15 熊本県阿蘇市、8/10 富山県富山市、1/25 愛媛県松山市
- ・「生物多様性キャラクター応援団共同宣言式」、「生物多様性リーダー任命式」、「MY 行動宣言デモンストレーション」、講演、認定連携事業等の発表、パネルディスカッション、参加者同士が意見交換を行うワークショップ等を組み合わせて実施

★ ☆ (3) 生物多様性出前講座【日本自然保護協会】

- ・生物多様性の普及啓発を目的に、講師を派遣する座学タイプの出前講座を1か所  
で実施  
8/30 横浜市 (生物多様性自治体ネットワークとの共催)

(4) 特別事業

- ・国際生物多様性の日シンポジウム「三陸復興国立公園の創設から考える生態系サービスの強化と持続可能な地域社会の構築」(5/22:東京)において、UNDB-J の活動を紹介
- ・第1回アジア国立公園会議(11/13~11/17:仙台)において、UNDB-J の活動のほか、東北に関連する認定連携事業や子供向け推薦図書を紹介

☆ 2. 連携事業の認定【国際自然保護連合日本委員会】

- ・UNDB-J が推奨する連携事業を9月(第3弾:11事業)と3月(第4弾:12事業)に認定(平成25年度末時点:43事業)
- ・認定された連携事業については、UNDB-J のロゴマークをご使用いただけるとともに、ウェブサイトやセミナー等の機会に紹介

### 3. 推薦図書等の選定

- ・ UNDB-J が推薦する子供向け図書「生物多様性の本箱」については、UNDB-J のロゴマークをご使用いただけるとともに、環境 goo 等のウェブサイトや、セミナー等の機会に紹介
- ★ ・ 「生物多様性の本箱」については、地球環境パートナーシッププラザや環境省生物多様性センターでの展示のほか、様々なイベントへの出展により広報  
4/29 新宿御苑みどりフェスタ、5/3～5/5 上野の森 親子フェスタ (上野公園)、6/1～6/2 エコライフ・フェア (代々木公園)、8/7～8/8 子ども霞が関見学デー、9/1 地球と恋する暮らし (東京ミッドタウン)、10/5～6 GTF グリーンチャレンジデー (新宿御苑)、12/12～14 エコプロダクツ展 (東京ビッグサイト等)
- ★ ・ 「生物多様性の本箱」を小・中学校、図書館、普及啓発施設等へ寄贈するため、企業等に寄付協賛を呼びかけ **寄付協賛募集事業**  
丸の内さえざり館 (GTF グリーンチャレンジアワード UNDB-J 賞)

### 4. 主流化推進チームによる広報・主流化

#### (1) 地球いきもの応援団、生物多様性リーダー

- ・ セミナー等の機会を活用し、地球いきもの応援団の中から新たに2名を「生物多様性リーダー」に任命 (平成25年度末時点:7名)  
7/15 江戸家 猫八さん、1/25 さかなクン
- ★ ・ 生物多様性マガジン「Iki・Tomo (イキトモ)」において、地球いきもの応援団のメンバーから生物多様性に関する取組やメッセージを紹介  
草野 満代さん、土屋 アンナさん、茂木 健一郎さん、ルー大柴さん

#### (2) 生物多様性キャラクター応援団

- ・ 新たに26のキャラクターが入団 (平成25年度末時点:97)
- ・ セミナー等の機会を活用し、UNDB-J キャラクター「タヨちゃんサトくん」と開催地のキャラクターが今後協力して普及啓発に取り組む「生物多様性キャラクター応援団共同宣言式」を実施  
5/26 秦野市観光協会「丹沢はだの三兄弟」、7/15 熊本県「くまモン」、阿蘇市「あか牛くん」、8/10 富山県「きとくと君」、10/5 TBS ホールディングス「eco ブー」、11/10 豊岡市「コウノトリのコーちゃん・オオサンショウウオのオーちゃん」、1/25 愛媛県「みきちゃん・ストッピー」、西条市「カブちゃん」、四国中央市「しこちゅ〜」、西予市「せい坊」、東温市「いのとん」、鬼北町「きほくん」、愛南町「なーしくん」
- ・ 缶バッジやシールを活用して広報を強化

#### ★ (3) Iki・Tomo パートナーズ

- ・ 生物多様性の主流化、国民運動への足掛かりとして、Facebook を活用した仕組みを構築。UNDB-J の活動の趣旨に賛同し、自ら行動する個人・団体がメンバーとして参画 (平成25年度末時点:約1,050)
- ・ メンバーには、UNDB-J のロゴマークをご使用いただけるとともに、認定連携事業や子供向け推薦図書をはじめとする UNDB-J の様々な取組を発信

## 5. 普及啓発ツール・アイテムの展開

### ☆ (1) MY 行動宣言 5つのアクション【CEPA ジャパン】

- ・ウェブサイト等で「MY 行動宣言シート」の活用を広く呼びかけ、あらたに 21 件のイベント（参加者数約 4,870 人）で活用  
（平成 25 年度末時点：112 件のイベント（参加者数 25,550 人）で活用）

### ★ MY 行動宣言を参考に 5つのアクションに即した活動を表彰する「生物多様性アクション大賞 2013」の実行委員会に参画

### ★ シートの裏面に企業等の生物多様性に関する取組を掲載するなど、企業等にタイアップを呼びかけ **UNDB-J タイアップ事業**

*GTF グリーンチャレンジデー（来場者約 12,500 人）のチラシに MY 行動宣言を掲載したほか、MY 行動宣言を活用したカードラリーに約 600 人の子供が参加*

### (2) グリーンウェイブ

- ・ 2013 年は参加団体 567、協力団体 140、参加者約 18,000 人、植樹約 41,000 本  
*2012 年は参加団体 465、協力団体 144、参加者約 18,000 人、植樹約 60,000 本*  
*2011 年は参加団体 383、協力団体 91、参加者約 28,000 人、植樹約 79,000 本*  
*2010 年は参加団体 1,588、協力団体 45、参加者約 111,000 人、植樹約 254,000 本*  
*2009 年は参加団体 80、協力団体 7、参加者約 3,000 人、植樹約 3,500 本*
- ・ リーフレットを活用して各セクターに働きかけ

### (3) 広報誌

- ・ 一般生活者を対象とした普及啓発用小冊子として、自然の恵みを感じる生物多様性マガジン「Iki・Tomo」を 3 回発行

*特別号（10 月）「つないでいこう、生物多様性の 10 年」*

*UNDB-J の取組の紹介、Iki・Tomo パートナーズへの参画の呼びかけ*

*Vol. 6（1 月）「みんなの生物多様性 ～わたしたちが今できること～」*

*国内外の著名人からのメッセージ*

*コンサベーション・インターナショナル副理事長 ハリソン・フォードさん*

*生物多様性国連親善大使 エドワード・ノートンさん、COP10 名誉大使 MISIA さん*

*地球いきもの応援団 草野 満代さん、土屋 アンナさん、茂木 健一郎さん、ルー大柴さん*

*Vol. 7（3 月）「ものづくりと生物多様性」*

*身近にある物の原材料や由来から考える生物多様性、暮らしの中のロングライフデザイン*

- ★ 企業等の生物多様性に関する取組の掲載や、既存の小冊子等とのコラボレーションなど、企業等にタイアップを呼びかけ **UNDB-J タイアップ事業**

### ★ (4) 環境教育

- ・ 企業、NPO/NGO、教育機関等における既存の環境教育に係る情報を収集し、現場の課題やニーズについて整理

## 6. ウェブサイト等による発信

### (1) UNDB-J ウェブサイト

- ・リニューアルしたウェブサイトにより、UNDB-J の活動状況等を発信

### ★☆☆ (2) 生物多様性.com (仮称)【日本自然保護協会】

- ・市民を対象に、日常の中で生物多様性の恵みを感じる機会を提供するためのウェブサイトの構築に向け、運用方針、UNDB-J ウェブサイトとの役割分担、情報掲載の手続き等を検討

### (3) 広報ツール

- ・リーフレットやブックマーク（東北の間伐材を活用）等を活用して各セクターに働きかけ

## 7. 委員会等の運営

- ・委員会（5/23）、幹事会（8/26、2/25）、運営部会（5/20、7/25、2/3）を開催
- ・寄付金の活用については UNDB-J 支援事業財務委員会（5/20、2/25）と連携

### 【参考】

#### (1) UNDB-J 推進事業（愛称：Iki・Tomo 推進事業）について

- ・UNDB-J 活動を拡大するため、UNDB-J 構成団体による事業との連携が効果的な事業や、UNDB-J 構成団体からの提案事業等については、環境省（UNDB-J 全体の事務局）と調整のうえ、UNDB-J 推進事業（愛称：Iki・Tomo 推進事業）に位置づけ、当該団体内に事務局（愛称：Iki・Tomo 推進事務局）を設置
- ・事業の実施にあたっては、UNDB-J 全体の事務局である環境省と連携しつつ実施

#### (2) 寄付協賛募集事業について

- ・事業規模の拡大等を図るため、事業の目的や趣旨に応じて、企業等に寄付協賛を呼びかけつつ事業を実施
- ・例えば、「生物多様性の本箱」の各作品を東北に寄贈するプロジェクトについては、各出版社への協賛（本の提供）の呼びかけや、企業等への寄付（寄贈式の実施費用の負担等）の呼びかけについても実施を検討

#### (3) UNDB-J タイアップ事業について

- ・企業等と UNDB-J がタイアップし、生物多様性の普及啓発ツール・アイテムを作成
- ・例えば、「Iki・Tomo」の発行については、企業等の生物多様性に関する取組を掲載する企画についても実施を検討（企業等は制作費等を負担、UNDB-J は生物多様性に関するコンテンツを提供するなど）

国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)  
平成26年度事業実施計画 (案)

- ★ 新規事業  
☆ Iki・Tomo 推進事業  
【 】 Iki・Tomo 推進事務局

1. 生物多様性に関する行動の呼びかけ

☆ (1) MY 行動宣言 5つのアクション【CEPA ジャパン】

- ・国民一人ひとりが生物多様性との関わりを自分の生活の中でとらえることができるよう、5つのアクションの中から自らの行動を選択して宣言する「MY 行動宣言シート」を、主流化の取組みの初動となるツールとして活用を広く呼びかけ
- ・シートの裏面に企業等の生物多様性に関する取組を掲載するなど、企業等にタイアップを呼びかけ **UNDB-J タイアップ事業**

★☆☆ (2) 生物多様性アクション大賞による表彰【CEPA ジャパン】

- ・国民一人ひとりが5つのアクションを理解し実践するため、全国各地から事例を収集してウェブサイトに掲載することと、各地の活動を応援することを目的に、企業等に寄付協賛を呼びかけ、MY 行動宣言の5つのアクションに即した活動を募集し表彰する「生物多様性アクション大賞2014」をUNDB-J 主催事業として実施

2. 主流化に向けた活動プログラム

(1) 「生物多様性の本箱」の普及

- ・UNDB-J が推薦する子供向け図書「生物多様性の本箱」については、環境 goo 等のウェブサイトやセミナー等の機会に紹介するほか、地球環境パートナーシッププラザや環境省生物多様性センターでの展示、様々なイベントへの出展により広報
- ★ ・「生物多様性の本箱」の広報を強化するため、図書館での展示フェアや、観察会と連携したイベントの実施等を検討
- ★☆☆ ・「生物多様性の本箱」を東北の小・中学校、図書館、普及啓発施設等に寄贈し、生物多様性に支えられる東北復興を支援するため、企業等に寄付協賛を呼びかけ【日本自然保護協会等】 **寄付協賛募集事業**

☆ (2) 連携事業の認定【国際自然保護連合日本委員会】

- ・UNDB-J が推奨する連携事業を9月（第5弾）と3月（第6弾）に認定
- ・認定連携事業については、ウェブサイトやセミナー等の機会に紹介するほか、リーフレットを活用して各セクターに働きかけ

(3) グリーンウェイブ【国土緑化推進機構】 **寄付協賛募集事業**

- ★ ・グリーンウェイブを強化するため、企業等にも協力を呼びかけつつ、「生物多様性と子どもの森」キャンペーン実行委員会等の関係団体と連携して事業を実施
- ・参加団体に参加証を発行するほか、全国一斉キャンペーン用のポスターを作成し、
- ★ リーフレットとともに各セクターに働きかけ
- ★ ・各種イベントで生物多様性キャラクター応援団がグリーンウェイブ活動への参加を呼びかけ

☆ (4) 生物多様性出前講座【日本自然保護協会】

- ・生物多様性の普及啓発を目的に、講師を派遣する座学タイプの出前講座を3か所で実施

3. セクター間の情報交換

(1) 生物多様性全国ミーティング

- ・10月に愛知県で「第4回生物多様性全国ミーティング」を開催
- ・「生物多様性自治体ネットワーク定期総会」、「生物多様性ミニフォーラム」、「生物多様性エクスカージョン」と連携して開催

(2) 生物多様性地域セミナー

- ・生物多様性自治体ネットワーク構成団体に連携・協力を呼びかけ、「生物多様性地域セミナー」を3か所で開催（北海道、宮城県大崎市、大分県）

4. 情報発信

(1) 広報誌

- ・一般生活者を対象とした普及啓発用小冊子として、自然の恵みを感じる生物多様性マガジン「Iki・Tomo」を3回発行
- ・企業等の生物多様性に関する取組の掲載や、既存の小冊子等とのコラボレーションなど、企業等にタイアップを呼びかけ UNDB-J タイアップ事業

☆ (2) 生物多様性.com【日本自然保護協会】

- ・日常の中で生物多様性の恵みを感じる機会を提供するためのウェブサイトを構築

(3) Iki・Tomo パートナーズ

- ・Iki・Tomo パートナーズへの新たな参画を広く呼びかけ
- ★ 認定連携事業や子供向け推薦図書をはじめとする UNDB-J の様々な取組のほか、UNDB-J 構成団体の取組を広く発信

(4) 環境教育

- ・企業、NPO/NGO、教育機関等と連携し、生物多様性に関する環境教育の普及方策を検討
- ・検討結果はESD ユネスコ世界会議において紹介

(5) UNDB-J ウェブサイト

- ・UNDB-J の活動状況等を発信

(6) 広報ツール

- ・リーフレットやブックマーク等を活用して各セクターに働きかけ

(7) 特別事業

- ☆ COP12 (10/6～17 韓国 平昌 (ピョンチャン)) において、UNDB-J の活動を紹介
- ・ESD ユネスコ世界会議 (11/4～8 岡山、11/10～12 名古屋) において、生物多様



性に関する環境教育の普及方策の検討をはじめとする UNDB-J の活動を紹介

## 5. 主流化推進チームによる広報・主流化

### (1) 地球いきもの応援団、生物多様性リーダー

- ・地球いきもの応援団への新たな加入を広く呼びかけ
- ・地球いきもの応援団の中から、国民一人ひとりが生物多様性の大切さを理解して行動に移せるように先導する「生物多様性リーダー」を、セミナー等の機会を活用して任命
- ・生物多様性マガジン「Iki・Tomo (イキトモ)」において、地球いきもの応援団のメンバーから生物多様性に関する取組やメッセージを紹介

### (2) 生物多様性キャラクター応援団

- ・キャラクター応援団への新たな入団を広く呼びかけ
- ・セミナー等の機会を活用し、UNDB-J キャラクター「タヨちゃんサトくん」と開催地のキャラクターが今後協力して普及啓発に取り組む「生物多様性キャラクター応援団共同宣言式」を実施

## 6. 委員会等の運営

- ・委員会（7月）、幹事会（2月）、運営部会（6月、9月、2月）を開催
- ・寄付金の活用については UNDB-J 支援事業財務委員会（6月、2月）と連携
- ★ 国連生物多様性の10年の折り返し地点である平成27年(2015年)に向け、UNDB-J の活動の中間評価を実施し、2020年に向けたロードマップを描くため、UNDB-J 構成団体へのアンケートやヒアリング、セクターごとの意見交換会等を実施
- ★ 中間評価やロードマップの方向性についてアドバイスを頂く懇談会を開催

### 【参考】

#### (1) UNDB-J 推進事業（愛称：Iki・Tomo 推進事業）について

- ・UNDB-J 活動を拡大するため、UNDB-J 構成団体による事業との連携が効果的な事業や、UNDB-J 構成団体からの提案事業等については、環境省（UNDB-J 全体の事務局）と調整のうえ、UNDB-J 推進事業（愛称：Iki・Tomo 推進事業）に位置づけ、当該団体内に事務局（愛称：Iki・Tomo 推進事務局）を設置
- ・事業の実施にあたっては、UNDB-J 全体の事務局である環境省と連携しつつ実施

#### (2) 寄付協賛募集事業について

- ・事業規模の拡大等を図るため、事業の目的や趣旨に応じて、企業等に寄付協賛を呼びかけつつ事業を実施
- ・例えば、「生物多様性の本箱」の各作品を東北に寄贈するプロジェクトについては、各出版社への協賛（本の提供）の呼びかけや、企業等への寄付（寄贈式の実施費用の負担等）の呼びかけについても実施を検討

#### (3) UNDB-J タイアップ事業について

- ・企業等と UNDB-J がタイアップし、生物多様性の普及啓発ツール・アイテムを作成
- ・例えば、「Iki・Tomo」の発行については、企業等の生物多様性に関する取組を掲載する企画についても実施を検討（企業等は制作費等を負担、UNDB-J は生物多様性に関するコンテンツを提供するなど）



国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J) 推薦「子供向け図書」

## 「生物多様性の本箱」

～みんなが生きものをつながる100冊～

国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J) では、  
生物多様性の理解や普及啓発、環境学習にも資するものとして、  
UNDB-J 推薦「子供向け図書」(愛称:「生物多様性の本箱」  
～みんなが生きものをつながる100冊～) を選定しました。※裏面参照

「生物多様性の本箱」の各作品については、UNDB-J のロゴマークをご使用頂けるとともに、  
UNDB-J としてもブックフェアや読み聞かせ会等のイベントと連携するなど、  
積極的な広報活動を行っていきます。

また、地球環境パートナーシッププラザ(東京都渋谷区)や  
環境省の生物多様性センター(山梨県富士吉田市)で、順次閲覧可能となります。  
ぜひたくさんの子供たちに、図書を手に取って生物多様性の大切さを感じて頂けたらと思います。

選定にあたっては、客観性、中立性、公平性等を確保するとともに、子供向け図書等に関する知見やネットワークを活用するため、  
外部専門家として日本児童図書出版協会、一般財団法人 出版文化産業振興財団および公益社団法人 日本環境教育フォーラムにご協力を頂きました。  
なお、生物多様性の理解等に資する子供向け図書については、様々なものが出版されており、この他にも多くの優れた作品があることは言うまでもありません。

2013. 3



### 「生物多様性の本箱」が閲覧可能な場所

- ・閲覧のみ可能です。貸出は行っていません。
- ・シリーズ作品等、全部を展示していない場合もあります。

#### 地球環境パートナーシッププラザ (GEOC)

住所: 東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学ビル 1F  
TEL: 03-3407-8107 <http://www.geoc.jp/>  
開館時間: 10:00 ~ 18:00 (土曜日は 17:00 まで)  
休館日: 日曜日、月曜日、祝日、年末年始  
GEOC は環境省と国際連合大学が共同で運営する環境パートナーシップ拠点です。

#### 環境省自然環境局生物多様性センター

住所: 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾 5597-1  
TEL: 0555-72-6031 <http://www.biodic.go.jp/>  
開館時間: 9:00 ~ 17:00  
休館日: 土曜日、日曜日、祝日、年末年始

#### 「国連生物多様性の10年日本委員会」(UNDB-J) とは

2011年から2020年までの10年間は、国連の定めた「国連生物多様性の10年」です。  
生物多様性条約第10回締約国会議(2010.10 愛知県名古屋市)で採択された、  
新たな世界目標である「愛知目標」の達成に貢献するため、国際社会のあらゆる  
セクターが連携して生物多様性の問題に取り組むこととされています。  
これを受け、「愛知目標」の達成を目指し、国内のあらゆるセクターの参画と連携を  
促進し、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する取組を推進するため、「国連  
生物多様性の10年日本委員会」(UNDB-J)が2011年9月に設立されました。

#### 問い合わせ先

国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)  
事務局: 環境省 自然環境局 生物多様性施策推進室  
TEL: 03-3581-3351 (代表)  
e-mail: [shizen-suishin@env.go.jp](mailto:shizen-suishin@env.go.jp)  
<http://undb.jp/>

地球のいのち、つないでいこう



国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J) 推薦「子供向け図書」  
「生物多様性の本箱」～みんなが生きものにつながる100冊～

●● 絵本 ●●			
no.	タイトル	著者等	出版発行
【幼児】			
1	海と空の約束	著: にしたに ひろし 絵: ありむら あや	①9
2	カモのきょうだいクリとゴマ	著: なかがわちひろ	③
3	しまふくろうのみずうみ	著: 手島圭三郎	⑤9
4	地面の下のいきもの	著: 松岡達英・大野正男	④7
5	14ひきのシリーズ (全12巻)	著: いわむらかずお	⑩6
6	大ぜんと動物たち	作: ステファン・シュルピエ イラスト: シルビア・ロング 訳: 千葉茂樹	④2
7	たねいっぱいわらったね	著: 近藤薫美子	③
8	ちきゅうのうえていのちのたびのおはなし	著: 沢田としき	⑫
9	ツエーディのうんちはどこいった?	著: 越智典子 イラスト: 松岡達英	⑨
10	のにつき一野日記	著: 近藤薫美子	③
11	みんなおなじでもみんなちがう	著: 奥井一満 写真: 得能通弘	④7
12	村上康成のくやまのピンク>シリーズ (全4巻)	著: 村上康成	⑩8
13	りんごとちょう	著: イエラ・マリ エゾフ・マリ	⑤6
【幼児～小学校低学年】			
14	まあるい いのち-ノエルの不思議な冒険-	著: うた: イルカ	⑫5
【小学校低学年】			
15	あめ じよあじよあ	著: イ・ミエ, 絵: 田島征三 訳: おおたけきよみ	⑫0
16	いきているひかり	著: モーリー・バグベーン・チザム 訳: さくまゆみこ	④6
17	生きものいっぱいゆたかなちきゅう	うた: 本川達雄 訳: ウタナベケイ子	⑩0
18	いきることは つながること。	著: あいはらひろゆき 絵: tupera tupera	⑪1
19	いのちのいれもの	作: 小菅正夫 絵: 堀川真	⑫3
20	いのちのつながり	著: 中村運 イラスト: 佐藤直行	④7
21	エゾオオカミ物語	著: あべ弘士	⑫6
22	かあさんふくろう	著: ニーデス・サッチャー・ハード イラスト: クレメント・ハード 訳: おひのりこ	⑨
23	ゴミにすむ魚たち	文・写真: 大塚彦彦	⑫6
24	サンゴしょうの海	著: 本川達雄 イラスト: 松岡達英	④7
25	セコイア 世界でいちばん高い木のはなし	著: ジェイソン・チン 訳: 萩原信介	④7
26	だいにどングリ	著: 横浜市緑化センター緑化指導課 緑化活動開発本制作委員会	⑤8
27	たまごのはなし	著: ダイアナ・アストン イラスト: シルビア・ロング 訳: 千葉茂樹	⑤6
28	田んぼの昆虫たんけん隊	著: 里中遊歩 イラスト: 田代哲也	⑤4
29	タンポポたいへん!	著: シャーロット・ミドルトン 訳: アーサー・ビナード	⑫7
30	土をつくる生きものたち 雑木林の絵本	著: 谷本雄治 イラスト: 盛口満	④
31	熱帯雨林のコレクション	著: 横塚真己人	④9
32	ひろった・あつめた ぼくのどングリ図鑑	著: 盛口満	④
33	ぼくとりなんだ	著: 和歌山静子	④0
34	マザーツリー	著: 村田真一 イラスト: 松岡達英	⑫5
35	もうひとつのどうぶつえん 絶滅どうぶつものがたり	構成・絵・立体制作: 宮川アユユ 文: 藪田朋子 監修: 今泉忠明	④5
36	もったいないばあさんと考える 世界のこと 生きものがさえる	著: 真珠まりこ	⑫6
37	森はだれがつくったのだから?	著: ウィリアム・ジャスパー イラスト: マック・エックハート 訳: 河合雅也	⑩7
38	森を育てる生きものたち 雑木林の絵本	著: 谷本雄治 イラスト: 盛口満	④
39	野生の動物を守りたい	著: フラフセス・リリー 訳: たにゆき	⑩1

40	山に木を植えました	著: スギヤマカナコ 監修: 畠山重篤	⑫6
【小学校低学年～高学年】			
41	いきもの いのち絵本 (全5巻)	著: 今泉忠明, 山崎克彦 アン・ドヒョウヒ	⑤4
42	いきもの図鑑えほん	著: 前田まゆみ	②
43	カキじいさんとしばぼう	文: 畠山重篤 絵: 徳田秀雄	⑤7
44	世界のふしぎな虫 おもしろい虫	著: 今森光彦	③
45	たねのはなし かしくくておもしろいふしぎな、ちいさいいのち	著: ダイアナ・アストン イラスト: シルビア・ロング 訳: 千葉茂樹	⑤6
46	みんなでかんがえよう! 生物多様性と地球環境 (全3巻)	編・他: 京極徹	④
47	森にいこうよ!	著: C.W. ニコル 監修: 田中雄大 イラスト: 松岡達英	⑫5
【小学校高学年】			
48	絵ときりウの時間とネズミの時間	著: 本川達雄 イラスト: あべ弘士	④7
49	オールド・ブルー 世界に1羽の母鳥	著: メアリ・テイラー 訳: 百々佑利子	⑫2
50	切っても切ってもプラナリア 新装版	著: 阿形清和 絵: 土橋とし子	⑤
51	生物の消えた島	著: 田川日出夫 イラスト: 松岡達英	④7
52	蝶の目と草はらの秘密	著: ジョイス・ジドマフ イラスト: ベス・クロムス 訳: 百々佑利子, 藤田千枝	⑩9
53	ドキュメント 地球のなごみたち (全12巻)	写真・文・他: 海野和男	⑫6
●● 読み物 ●●			
【小学校低学年】			
54	こちら葛飾区亀有公園前派出所 両さんの生物大達人	キャラクター原作: 秋本治 著: 池田俊一 監修: 南田香織	⑫4
55	自然科学読み物 生きものちえ (全5巻)	著: 伊藤年一 監修: 今泉忠明	⑩0
【小学校低学年～高学年】			
56	いきものがたり-生物多様性11の話 ビジュアルエロブックスシリーズ (全3巻)	企画監修: 山本良一 編者: Think the Earth	⑩3
【小学校高学年】			
57	池上彰のニュースに登場する世界の環境問題 6動物の多様性	著: アンジェラ・ロイストン 監修: 池上彰, 訳: 稲葉茂樹	⑫2
58	おしえて! さかなクン1~3	著: さかなクン	⑧
59	川は生きている	著: 富山和子	⑫7
60	里山のおくりもの	著: 今森光彦	⑫9
61	ツシヤママナコって、知ってる? ~絶滅から救え! わたしたちができること~	著: 太田京子	④
62	ハクチョウ水べに生きる	著: 嶋田哲郎 写真: 伊藤利喜雄	⑫1
63	干がたは海のゆりかご 東京湾の海を守る	著: 川嶋康男 イラスト: すずさきも	⑦
64	琵琶湖のカルテ	著: 今関信子	⑤0
65	みみずのカーロ ジェファー先生の自然の学校	著: 今泉みね子	⑫8
66	森は生きている	著: 富山和子	⑫7
67	野生のゴリラと再会する-二十六年前のわたしを覚えているタイタスの物語	著: 山極寿一	⑫4
68	0.1ミリのタイムマシン-地球の過去と未来が化石から見えてくる	著: 須藤斎	⑫5
【中学生】			
69	生きもの地図をつくらう	著: 浜口哲一	⑤
70	さとやま-生物多様性と生態系 模様 < 知の航海シリーズ >	著: 鷲谷いづみ	⑤
71	サンゴとサンゴ礁のはなし-南の海のふしぎな生態系	著: 本川達雄	⑩3
72	図説 木のすべて (全5巻)	監修: 小沢晋照 著: ①山岡寿夫/②③三輪雄四郎/④小沢晋照/⑤田中正昭	⑩2
73	生物多様性と私たち-COP10から未来へ	著: 香坂玲	⑤
74	<生物多様性>入門	著: 鷲谷いづみ	⑥
75	榊前山 お花畑で聞いたこと	著・写真: 新沼友啓	④8

76	鉄は魔法つかい	著: 畠山重篤	⑫5
77	日本人は植物をどう利用してきたか	著: 中西弘樹	⑤
78	日本らしい自然と多様性-身近な環境から考える	著: 根本正之	⑤
79	マダガスカルがこわれる	著: 藤原幸一	⑤5
80	モグラ博士のモグラの話	著: 川田伸一郎	⑤
81	野生動物への2つの視点 "虫の目"と"鳥の目"	著: 南正人 高槻成紀	⑩4
●● 図鑑 ●●			
【幼児】			
82	こどものずかん Mio (1) むし	絵: 村上康成	④4
【小学校低学年】			
83	講談社の動く図鑑 MOVE (全7巻)	監修・他: 養老孟司	⑫6
84	小学館の図鑑 NEO 昆虫	著: 小池啓一, 町田隆一郎 森上徳夫, 小野原朋, 田辺力 関井学	⑫5
【小学校低学年～高学年】			
85	動物の「跡」図鑑	著: ジョニー・ジョコフ 訳: 宮田裕子 日本語版監修: 友野雅博, 西島功, 川田伸一郎	⑤1
86	ドキドキ! 生きもの発見 第1期 (全5巻)	写真: 栗林慧 総合監修: 日高敏隆	①59
【小学校高学年】			
87	おくむらあやお ふるさとの伝承料理 (全13巻)	著: 奥村彪生 絵: 塚本やすし, 上田ゆき子, 上野直大他	④1
88	自然図鑑 動物・植物を知るために	著: さとうち藍 イラスト: 松岡達英	④7
89	田んぼの生き物 おもしろ図鑑	著: 湊秋作 農村環境整備センター	④1
90	地球環境図鑑-わたしたちの星の過去・現在・未来	総監修: テロウ・デ・ロスマイルド 監訳: 枝廣洋子	⑤5
91	野鳥観察ハンディ図鑑「新・山野の鳥改訂版」	著: 安西英明 イラスト: 谷口高司	④0
92	野鳥観察ハンディ図鑑「新・水辺の鳥改訂版」	著: 安西英明 イラスト: 谷口高司	④0
【小学校高学年～中学生】			
93	奇跡のテクノロジーが いっぱい! すごい自然図鑑	監修: 石田秀輝	④3
94	生物多様性の大研究	監修: 小泉武栄	④3
95	「ネイチャーアウトチングガイドブック」海藻	写真: 阿部秀樹 海藻おしほ: 野田三千代 監修: 神谷伸伸	⑫8
【中学生】			
96	自然の中の間人シリーズ (全3編30巻)	著: 西尾道徳, 柏崎守, 新国俊幸他 絵: 飯島清, 森上義孝, 藤田正純他	④1
97	どっこい生きてる、ゴミの中	著: 伊藤勝敏	⑤3
98	目で見える生命 生き残りかけた戦い	著: ロバート・ウィフストン 訳: 大塚道子	⑫2
●● 写真集 ●●			
【小学校低学年】			
99	アリの目日記	著: 栗林慧	⑤2
【小学校低学年～高学年】			
100	海中記	写真・文: 小林安雅	④7
●● その他 ●●			
【小学校高学年】			
101	子供の科学サイエンスブックス 水生昆虫大集合	著: 築地琢郎	⑫8
102	守つてのこそ! いのちつながる日本の自然 (全6巻)	著: 鷲谷いづみ, 畠山重篤 森上徳夫, 西原昇吾, 佐竹節夫, 泉地正行	⑩6
103	野生動物被害から考える環境破壊 今、動物たちが起きているのか (全5巻)	監修: 三浦慎悟	⑩3

【出版・発行 (50音順)】①アスク②あすなろ書房③アリス館④岩崎書店⑤岩波書店 (岩波ジュニア新書)⑥岩波書店 (岩波ブックレット)⑦絵本塾出版⑧エンターブレイン⑨偕成社⑩学研マーケティング  
⑪環境省生物多様性推進室⑫教育画劇⑬金の星社⑭くもん出版⑮くもん出版 (くもんジュニアサイエンス)⑯講談社⑰講談社 (善い鳥文庫)⑱合同出版⑲神戸新聞総合出版センター⑳光村教育図書㉑小峰書店  
㉒さ・え・ら書房㉓サンマーク出版㉔集英社㉕小学館㉖新日本出版社㉗鈴木出版㉘誠文堂新光社㉙世界文化社㉚友好会社㉛大日本絵画㉜大日本図書㉝ダイエム社㉞筑摩書房㉟中央公論新社㊱童心社  
㊲童話屋㊳徳間書店㊴富山房㊵日本野鳥の会㊶農山漁村文化協会㊷BL出版㊸PHP研究所㊹ひかりのくに㊺ひさかたチャイルド㊻評論社㊼福音館書店㊽ふるさと文化センター㊾フレール館㊿文研出版  
㊿文楽堂㊿平凡社㊿保育社㊿星の環㊿ポプラ社㊿はるぶ出版㊿水山養殖場カキの森書房㊿横浜市環境創造局みどりアップ推進課【横浜市緑化センター, (財)横浜市緑の協会 (発行当時)】㊿リブリオ出版